

Wingnet Ver.11 動作要件

サーバー	
CPU	Intel Xeon プロセッサ 3.0GHz 以上
メモリ	4GB 以上 (8GB 以上推奨)
HDD ※1	100MB 以上 ※3
OS ※2	Windows Server 2003 Standard Edition(SP2) Windows Server 2003 Enterprise Edition(SP2) Windows Server 2008 Standard Edition(SP2) Windows Server 2008 Enterprise Edition(SP2)
ネットワーク	100Mbps 以上のスイッチングハブで構成されたネットワーク (Gigabit Ethernet 推奨)
必須ソフトウェア	Windows Media サービス ※4 デスクトップエクスペリエンス ※5

	先生 PC・生徒 PC 校内 LAN 管理 PC・校内 LAN クライアント PC	エンコーダ PC ※6
CPU	DualCore プロセッサ 2.0GHz 以上	Intel Celeron プロセッサ 2.0GHz 以上
メモリ	2GB 以上	1GB 以上
メモリ	2GB 以上 ※7	
HDD	200MB 以上 ※8	
OS ※2	Windows XP Professional(SP3) Windows Vista Business(SP2) Windows 7 Professional(x86,x64)	
画面解像度	1024×768 (True Color) 以上	
ネットワーク	100Mbps 以上のスイッチングハブで構成されたネットワーク ※9 【無線】 IEEE802.11a (W52・W53) または IEEE802.11n 対応の無線ネットワーク ※10 WakeUp On Lan(WOL)に対応していること 先生 PC・生徒 PC・エンコーダ PC は同一ネットワークセグメント内にあること	
ビデオキャプチャ	-	「Windows Media エンコーダ 9」対応のもの (ソフトウェアエンコード方式であること)
必須ソフトウェア	DirectX 9 以降 Windows Media Player 9 以降 Internet Explorer 6.0(SP1)/7/8 Microsoft .NET Framework 3.5 (SP1) ※11	Windows Media エンコーダ 9 以降 ※12
連携ソフトウェア	ジャストジャンプ 5/R.2 ジャストスマイル 5/R.2	
その他	DirectX(DirectDraw, DirectSound)に対応 マイク/ライン入力/スピーカ端子 録音デバイスに「ステレオミキサー」×1(先生 PC のみ) USB(1.1~2.0)ポート×1(先生 PC のみ) ※13 シリアル(RS-232C)ポート×1(先生 PC のみ) ※14	

- ※1 使用するオプションにより、別途データ保存用の空き容量が必要です。
- ※2 PC/AT 互換機および日本語版 OS のみ対応。特に指定が無い OS は x86 版のみ対応。
- ※3 コンテンツデータ格納に別途容量が必要です。
- ※4 「VOD/動画配信オプション」を使用する場合に必要。
- ※5 「録画ツールオプション」・「VOD/動画配信オプション」を使用する場合に必要。
- ※6 「ライブ配信」機能を使用する場合に必要。(先生 PC にビデオキャプチャデバイスを装着して兼任させることも可能です)
- ※8 「環境復元機能」を使用する場合は、システムドライブおよび対象とする各ドライブに以下の容量が必要。
32ビット OS : 20GB 以上、または 10%以上の空き
64ビット OS : 25GB 以上、または 10%以上の空き
- ※9 L3スイッチ等のインテリジェントスイッチを利用する場合、マルチキャストによる通信ができるよう設定してください。
異なるネットワークセグメントの PC をリモート起動する場合は、Directed Broadcast による通信を行う必要があります。
- ※10 先生 PC が無線の場合は生徒 PC 20 台まで。(有線の場合は生徒 PC 40 台まで)
- ※11 「環境復元機能」を使用する場合にあらかじめインストールしておく必要があります。
- ※12 「オーサリングツール」で Windows Media 形式でのファイル保存を行う場合は必要。
- ※13 USB 操作ユニットを使用する場合に必要。
- ※14 CWG-2000C を使用する場合に必要。

Wingnet Web オプション 動作要件

サーバー ※1	
CPU	Intel Xeon プロセッサ 3.0GHz 以上
メモリ	4GB 以上 (8GB 以上推奨)
HDD	2GB 以上
OS ※2	Windows Server 2003 Standard Edition(SP2) Windows Server 2003 Enterprise Edition(SP2) Windows Server 2008 Standard Edition(SP2) Windows Server 2008 Enterprise Edition(SP2)
必須ソフトウェア	Internet Information Services 6.0 以上 ※3 .ASP.NET が IIS6.0 以降で動作すること .NET Framework Version 1.1 または、.NET Framework Version 2.0 Active Directory ドメインサービス ※4

操作クライアント PC ※5	
CPU	OS が推奨する環境以上
メモリ	OS が推奨する環境以上
HDD	OS が推奨する環境以上
OS ※2	Windows XP Professional(SP3) Windows Vista Business(SP2) Windows 7 Professional(x86,x64)
画面解像度	1024×768 (True Color)以上
必須ソフトウェア	Internet Explorer 6.0(SP1)/7/8

※1 「Web オプション ユーザー管理 1500/MG」では、AD サーバー・Web サーバーを、それぞれ個別のサーバーマシンにインストールすることができます

※2 PC/AT 互換機および日本語版のみ対応。特に指定が無い OS は x86 版のみ対応

※3 IIS7.0 では「IIS6 メタベース互換」が有効になっていること。

※4 「Web オプション ユーザー管理 1500/MG」をインストールする AD サーバーに必要

※5 操作クライアント PC に Web オプションをインストールする必要はありません

Web オプションの注意事項

システム全体	<p>■利用する先生ユーザーアカウントを ActiveDirectory の「WingnetTeachers」グループに登録する必要があります。</p> <p>※「WingnetTeachers」グループはシステムインストール時に自動生成されます。</p>
WAN 環境で使用時	<p>■通信内容にログオンや個人情報が含まれる可能性がありますので、SSL や VPN で通信を保護することを推奨します。</p>
ブラウザ	<p>■Internet Explorer 以外では、表示がずれたり、機能が動作しないことがあります。</p> <p>※Internet Explorer 以外での動作はサポート外です。</p> <p>■Windows 以外の環境からアクセスした場合、文字コードの違いにより文字化けを起こしたり、ファイルシステムの違いにより、Windows で扱えないファイルをアップロードしてしまう事で正常に動作しなくなることがあります。</p>

Web オプション ユーザー管理 1500/MG(WING-NETMG)の注意事項

■アクセス権とフォルダ共有について

システム全体	<p>■WING-NETMG の Web アプリケーションは、インストール時に作成されるシステムユーザー (wing-netmgAdmin) で動作するため、このユーザには Administrator を権限付与しています。</p>
個人フォルダ	<p>■個人フォルダのデータ保存先パーティションのルートディレクトリは、フォルダ共有を行い、システムユーザーアカウント、先生・管理者アカウント、生徒アカウントにフルコントロールのアクセス権限を付与してください。</p>
ユーザープロファイル	<p>■固定または、移動プロファイルを使用する場合は、ルートディレクトリのフォルダ共有を行い、システムユーザーアカウント、先生・管理者アカウント、生徒アカウントにフルコントロールのアクセス権限を付与してください。</p>

■サーバー構成について

全般	<p>■WING-NETMG は、シングルドメインでのみ動作します。</p> <p>AD サーバー・Web サーバー・個人フォルダ用ファイルサーバーは、同じドメインに所属させてください。</p>
個人/グループフォルダ 用ファイルサーバ	<p>■個人フォルダの容量制限機能を使用する場合は、Windows Server のディスククォーター機能を使用するため、専用のパーティションが必要です。</p>

インストール前の事前準備

■ネットワーク設定

Wingnetの通信サーバー・先生PC・生徒PC間は、ホスト名で相手を指定して通信しますので「名前解決」が必要です。

Hosts ファイル	Wingnet がインストールされるサーバーと、先生 PC・生徒 PC 全ての IP アドレスとホスト(コンピューター)名を記載した Hosts ファイルを、全台にコピーしてください。
DNS	Wingnet がインストールされるサーバーと、先生 PC・生徒 PC 全てを、「正引き(ホスト名での問い合わせに IP アドレスを返す)」が行われるように登録してください。 また、DHCP を使用する場合は DNS と連携できるように設定してください。

■アクセス権に関して

コンピューターをドメインに参加させず Workgroup で運用するときは、以下のようにアクセス権を与えてください。

	サーバーのインストールフォルダ(AVS_SV)	ローカルのインストールフォルダ(AVS)
先生 PC 校内 LAN 管理 PC	読み取り・変更	読み取り・変更
生徒 PC 校内 LAN クライアント エンコーダ PC	なし	読み取り・変更

■使用ポート

	役割	データの流れる方向	ポート番号と種類
コマンド系	通信管理サービス	通信サーバー ⇄ 先生/生徒/校内 LAN 管理/校内 LAN クライアント/エンコーダ	7788 [TCP]
	教材管理サービス	教材管理サーバー ⇄ 生徒/校内 LAN クライアント	7789 [TCP]
	ビデオ管理サービス	ビデオ管理サーバー ⇄ 先生/生徒/校内 LAN 管理/校内 LAN クライアント	7795 [TCP]
	ファイル配信サービス	ファイル・ソフト配信サーバー ⇄ 先生/生徒/校内 LAN 管理/校内 LAN クライアント	7796 [TCP]
	授業ライブラリサービス	授業ライブラリサーバー ⇄ 先生/生徒/校内 LAN 管理/校内 LAN クライアント	7797 [TCP]
データ系	画面転送	生徒/校内 LAN クライアント ⇒ 先生/校内 LAN 管理 先生 PC ⇒ 生徒 PC ※1 生徒 PC ⇒ 生徒 PC ※1	8972 [UDP]
	音声通信	生徒/校内 LAN クライアント ⇄ 先生/校内 LAN 管理 先生 PC ⇒ 生徒 PC ※1 生徒 PC ⇒ 生徒 PC ※1	8864 [UDP]
	リモート操作	校内 LAN 管理 ⇒ 生徒/校内 LAN クライアント 先生 PC ⇒ 生徒 PC ※1	7790 [UDP]
	一斉起動	先生 PC ⇒ 生徒/校内 LAN クライアント ※2 校内 LAN 管理/サーバー ⇒ 先生/生徒/校内 LAN クライアント ※2	7749 [UDP]
	ビデオオンデマンド	ビデオ管理サーバー ⇄ 先生/生徒/校内 LAN 管理/校内 LAN クライアント	1755 [TCP/UDP] ※3 1024~5000 [UDP] ※3
	ライブ・ビデオ配信	サーバー ⇄ エンコーダ PC	1755 [TCP/UDP] ※3 1024~5000 [UDP] ※3
		エンコーダ PC ⇒ 先生/生徒 ※1	7798,7799 [UDP]
リプレイ	授業ライブラリサーバー ⇒ 先生/生徒 ※1 授業ライブラリサーバー ⇒ 校内 LAN 管理/校内 LAN クライアント	8864 [UDP] 8972 [UDP]	

※1 マルチキャストを使用します。

※2 ブロードキャストを使用します。

※3 Windows Media が使用します。

基本機能	
システム全般	<ul style="list-style-type: none"> ● ウイルス対策ソフトの保護を無効にしてから Wingnet のインストールを行ってください。 ● サーバーと先生 PC・生徒 PC 間では、状態検知のため通信を行います。先生 PC と生徒 PC がスタンバイ状態になると通信が切断され、Wingnet の動作に支障が出ますので、スタンバイ状態に移行しないよう設定してください。
画面転送 複数リモート操作	<ul style="list-style-type: none"> ● レイヤー3スイッチ、レイヤー2インテリジェントスイッチを利用する場合、マルチキャストによる通信ができるよう設定してください。 ● ネットワーク内に通信速度が低速な機器(プリンタ等)が混在する場合、通信速度が低速に揃えられることがあります。パフォーマンス不足に陥ることがあります。マルチキャストの packets に影響を及ぼさないよう、スイッチやネットワークインターフェースの設定を行ってください。 ● UAC(ユーザーアカウント制御)を「通知しない」にしてください。
電源管理(一斉起動)	<ul style="list-style-type: none"> ● 先生 PC・生徒 PC に Wakeup On Lan 対応のネットワークインターフェースが必要です。また BIOS(UEFI)で Wakeup On Lan 機能を有効にしてください。 ● 電源 OFF 状態でも、ネットワークインターフェースがマジックパケットを受け付けられる状態になるよう設定してください。 ● 異なるネットワークセグメントの PC をリモート起動する場合は、Directed Broadcast を有効にする必要があります。無線環境では利用できません。
外部映像機器の配信	<ul style="list-style-type: none"> ● エンコーダ PC(先生 PC 兼エンコーダ PC)には、ソフトウェアエンコード方式のビデオキャプチャデバイスが必要です。 ● 教室内の先生 PC と生徒 PC は、同一セグメントに配置してください。 ● ビデオキャプチャデバイスの音声端子から音声を取り込めない場合があります。そのときは、PC 本体の「Line-IN」端子から取り込むようにしてください。 ● 無線環境では、音声配信できないことがあります。
授業終了	<ul style="list-style-type: none"> ● 先生 PC で Wingnet を正常に終了しなかった場合、教室の状態が「授業中」のままになることがあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・先生 PC を強制的に電源 OFF した場合 ・「Wing.exe」をタスクマネージャから終了したり、エラー等で強制終了された場合 ● ※状態が授業中か否かを判別して動作する機能が多くありますので、機能が正常に動作しないときなどは、授業開始→授業終了を行ってください。
ソフトウェア中間モニター(WingnetC)	<ul style="list-style-type: none"> ● 中間モニターを接続する生徒 PC をマルチモニター構成にする必要があります。 ● ※PC の機種によっては、グラフィックカードを追加が必要です。
プリンタ制御	<ul style="list-style-type: none"> ● Wingnet で管理することができるプリンタは、サーバーで共有したネットワークプリンタのみです。 ● 生徒 PC には、サーバーで共有したネットワークプリンターをインストールしてください。 ● ※TCP/IP ポート等で接続するローカルプリンタは不可
自動ログオン ログオン制限	<ul style="list-style-type: none"> ● ICカードや指紋等を用いたログオン認証システムを使用する場合やログオンパネルをカスタマイズされている場合は、自動ログオン・ログオン制限の機能が使用できない場合があります。対応が必要な場合は、別途カスタマイズを検討させていただきますので事前にご相談下さい。
ブラウザロック	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自動クラッシュ回復機能を有効にする」を無効にしてください。
分離統合	<ul style="list-style-type: none"> ● 分離統合には分離運用する教室分の先生 PC と生徒 PC ライセンスが必要です。 ● 「すぐに新しい教室へ接続する」・「ログオフしてから新しい教室へ接続する」の設定では、切り替え処理に失敗する PC が出る場合があります。 ● ※設定の反映に失敗した PC の検出はできませんので、動作が不安定な PC は再起動してください。 ● 対象教室の先生 PC が「授業中」の場合、分離統合の切替を行うことができません。 ● 分離時、「無効」になっている教室では Wingnet が動作しません。

オプション機能	
操作ユニット (WingnetV/UN)	<ul style="list-style-type: none"> ● 先生 PC に USB ポートが1つ必要です。 ● 64 ビット OS は非対応です。 ● USB3.0 は非対応です。(USB1.1 または 2.0 のポートに接続してください。)
レポート管理機能 (レポート管理)	<ul style="list-style-type: none"> ● ダウンロードや提出を許可する生徒を制限するには、グローバルグループの設定が必要です。
出席管理機能 (管理ツール)	<ul style="list-style-type: none"> ● 出席者リストを抽出するとき、設定した条件によっては時間がかかる場合があります。また、抽出画面がモーダル表示のため、処理中は他の操作ができなくなることがあります。
印刷枚数管理 (管理ツール)	<ul style="list-style-type: none"> ● 枚数制限・印刷ログを利用する場合は Active Directory のユーザーアカウントが必要です。 ● プリンタとアプリケーション(例 Microsoft Office Word)の組み合わせによって、ページ数が印刷部数倍にならない場合があります、複数ページを複数部印刷すると、制限枚数より多く印刷できる場合があります。
Windows Update 支援 (管理ツール)	<ul style="list-style-type: none"> ● 適用できるのは重要な更新のみです。※サービスパック等の適用はできません ● 他社の環境復元機能とは連携できません。
掲示板書き込み禁止 アクセスログ (管理ツール)	<ul style="list-style-type: none"> ● 掲示板書き込み禁止・インターネットアクセスログの機能を使用する際は、生徒 PC のインターネットオプションでプロキシの設定を行う必要があります。 ● HTTP プロトコルの通信遮断のみ対応しています。※HTTPS や FTP には対応していません ● 掲示板書き込み禁止機能は、POST メソッドの HTTP リクエストを全て遮断します。POST メソッドを使用しない掲示板では書き込み可能な場合があります。
録画ツール (録画ツール)	<ul style="list-style-type: none"> ● サーバーに、「デスクトップ エクスペリエンス」機能を追加する必要があります。
音声通信 (音声通信・CALL)	<ul style="list-style-type: none"> ● 先生 PC・生徒 PC それぞれにノイズキャンセリング機能付のヘッドセットをご用意下さい。 ● 無線環境では本機能は利用できません。 ● 音声デバイスにミキサーデバイス(ステレオミキサー等)が存在しない場合、先生 PC で再生している音声は送信対象にできません。
機器故障時 先生 PC 切替機能 (運用支援ツール)	<ul style="list-style-type: none"> ● ローカルコンピューター上の切替プログラムを実行するので、環境復元機能が有効の時や、シンクライアント環境では利用できません。 ● 先生 PC として動作するとき、エンコーダー PC の機能を兼用させることはできません。
WING-NETMG (ユーザー管理 1500・ ユーザー管理 MG)	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人フォルダの容量制限を利用する場合、個人フォルダのデータを保存するパーティションを別にご用意下さい。 ● フォルダ管理機能(個人フォルダの参照・ダウンロード・アップロード)を利用する場合は、Active Directory に参加した端末にログオンして操作を実施して下さい。
Web オプション 端末利用状況表示	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機能は生徒 PC の利用状況の html ファイルを生成して、FTP でアップロードする機能です。生成した html ファイルを公開する Web サーバーは、別途ご用意下さい。
ビデオオンデマンド	<ul style="list-style-type: none"> ● サーバーに「Windows Media サービス(ストリーミングメディアサービス)」サービスと「デスクトップ エクスペリエンス」機能を追加する必要があります。 ● 使用できるファイル形式は wmv、asf、wma で、定められた形式で作成していない場合は正しく再生・配信できない場合があります。 ● ライセンス(DRM)付のファイルは使用できません。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 教室で使用できる生徒 PC は 120 台です。※増設オプション購入時は 480 台までに拡張されます。 ● ひとつのドメイン内で運用して下さい。 ※複数ドメインで Wingnet を使用する場合はサポート致しかねます。

■環境復元機能対応ウイルス対策ソフト(2013年7月30日版インストール時)

メーカー	製品名	OS		
		XP	Vista	7
Symantec	Symantec AntiVirus Corporate Edition 9.0	○	—	—
	Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.0	○	○	—
	Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.1	○	—	—
	Symantec AntiVirus Corporate Edition 10.2	—	○	—
	Symantec Endpoint Protection 11.0 MR4MP2 以前	○	○	○
	Symantec Endpoint Protection 11.0 RU5	○	○	○
	Symantec Endpoint Protection 11.0 RU6	○	○	○
	Symantec Endpoint Protection 11.0 RU7 MP1 以前	○	○	○
	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU1 以前	○	○	○
	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU2	○	○	○
	Symantec Endpoint Protection 12.1 RU2 MP1	○	○	○
Trend Micro	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 7.0	○	—	—
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 7.3	○	—	—
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 8.0	○	○	—
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.0	○	○	—
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.0(SP1)	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.0(SP1 Patch2)	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.0(SP1 Patch3)	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.0(SP1 Patch4.1)	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.0(SP1 Patch5)	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.5	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.5(Patch1)	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.5(Patch2.2)	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.5(Patch3)	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.6 ※1	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.6(SP1) ※1	○	○	○
	ウイルスバスター コーポレートエディション バージョン 10.6(SP2) ※1	○	○	○
	McAfee	VirusScan Enterprise 7.1	○	—
VirusScan Enterprise 8.0i		○	—	—
VirusScan Enterprise 8.5i		○	○	—
VirusScan Enterprise 8.7i		○	○	○
VirusScan Enterprise 8.8		○	○	○
F-Secure	エフセキュア クライアント セキュリティ 7.0	○	—	—
	エフセキュア クライアント セキュリティ 7.1	○	○	—
	エフセキュア クライアント セキュリティ 8.0	○	○※2	—
	エフセキュア クライアント セキュリティ 9.0	○	○※2	○
	エフセキュア クライアント セキュリティ 9.1	○	○※2	○
	エフセキュア クライアント セキュリティ 9.2	○	○※2	○
	エフセキュア クライアント セキュリティ 9.31	○	○※2	○
	エフセキュア クライアント セキュリティ 9.32	○	○※2	○
	エフセキュア クライアント セキュリティ 10.00	○	○※2	○
ESET	NOD32 アンチウイルス V4.0 ※3	○	○	○
	NOD32 アンチウイルス V4.2 ※3	○	○	○
	Endpoint アンチウイルス V5.0 ※4	○	○	○
Sophos	Sophos Endpoint Security and Control 9.5 ※5	○	○	○
	Sophos Endpoint Security and Control 9.7 ※5	○	○	○
	Sophos Endpoint Security and Control 10.0 ※5	○	○	○
	Sophos Endpoint Security and Control 10.2 ※5	○	○	○

※1 プラグイン機能はサポート外です。

※2 エフセキュアクライアントセキュリティの「F-Secure 管理エージェント」サービスを「自動(遅延開始)」に設定してください。

※3 NOD32 の設定で「自己防衛を有効にする」をオフにしてください。

※4 Endpoint アンチウイルスの設定で「HIPS を有効にする」「自己防衛を有効にする」をオフにしてください。

※5 ディスク暗号化機能には対応しておりません。暗号化を行うと OS が起動しなくなる場合があります。

■環境復元機能について

基本要件	<ul style="list-style-type: none">● Wingnet インストール後に復元を行うドライブに30%以上の空き領域が必要です。● .NET Framework3.5 がインストールされている必要があります。● GPT は非対応です。● UEFI は非対応です。
ウイルス対策ソフトの設定	<ul style="list-style-type: none">● 環境復元機能(ファイル・フォルダーモード)と以下のウイルス対策ソフトが共存するときは、ウイルス対策ソフトの設定を行ってください。<ul style="list-style-type: none">■Symantec Endpoint Protection<ol style="list-style-type: none">1. Symantec Endpoint Protection 12.1 との連携 環境復元機能を無効にし、「ファイルシステム Auto-Protect」の「拡張」内の「Auto-Protect をロードするタイミング」で「Symantec Endpoint Protection の起動」を選択する。 Symantec Endpoint Protection の管理コンソールの「設定の変更」のクライアント管理の「オプションの設定」から「改変対策」を開き、「シマンテック製セキュリティソフトウェアを改版または終了から保護する」を無効に設定する。 加えて、レジストリエディタで以下の値へ everyone フルコントロールの権限を与える。 32 ビット OS の場合 HKLM\SOFTWARE\Symantec\Symantec Endpoint Protection\AV\Scheduler 64 ビット OS の場合 HKLM\SOFTWAREWow6432Node\Symantec\SymantecEndpointProtection\AV\Schedule その後、無効にした「改変対策」を有効にもどし、環境復元機能を有効にする。2. プロアクティブ脅威防止機能との共存 環境復元機能を無効にし、Symantec Endpoint Protection の管理コンソールの「設定の変更」のクライアント管理の「オプションの設定」から「改変対策」を開き、「シマンテック製セキュリティソフトウェアを改版または終了から保護する」を無効に設定する。 加えて、レジストリエディタで以下の値を編集する。 32 ビット OS の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\BHDrvx86 64 ビット OS の場合 HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\BHDrvx64 ・ Start エントリの値(初期値 1)を 2 に変更する。 ・ DelayedAutoStart エントリ(値の種類は DWORD)を追加し、値に 1 を設定する。 その後、無効にした「改変対策」を有効にもどし、環境復元機能を有効にする。3. ダウンロード拡張保護機能との共存 以下のコマンドを実行し、ダウンロード保護機能関連ドライバをシステム起動時に起動するようにする。 32 ビット OS の場合(StartIDSvix86 という名前のタスクを登録します) SCHTASKS /Create /RU SYSTEM /SC ONSTART /TN StartIDSvix86 /TR "sc start IDSvix86" /RL HIGHEST 64 ビット OS の場合(StartIDSvia64 という名前のタスクを登録します) SCHTASKS /Create /RU SYSTEM /SC ONSTART /TN StartIDSvia64 /TR "sc start IDSvia64" /RL HIGHEST4. その他注意事項<ul style="list-style-type: none">・ Windows 8(32 ビット版)との組み合わせはサポート対象外です。・ ネットワーク侵入防止機能が遅延開始されます。■ウイルスバスターコーポレートエディション<ul style="list-style-type: none">・ ウィルスバスターの管理サーバに対して、パターンファイル以外のアップデートは自動実行しないように設定してください。・ プラグイン機能はサポート対象外です。■ESET Endpoint アンチウイルス V5.0

	<p>環境復元機能を無効にし、設定画面で「HIPS を有効にする」「自己防衛を有効にする」のチェックボックスをオフにする。</p> <p>■Sophos Endpoint Security and Control 10.2</p> <p>ディスク暗号化機能には対応しておりません。暗号化を行うと OS が起動しなくなる場合があります。</p>
<p>注意が必要なアプリケーション</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の機能を有するアプリケーションと共存した場合 OS が起動しなくなる場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> ■Windows の一般的なファイルアクセスを使用しないアプリケーション ■ディスクのエラーを修復するアプリケーション Norton Utilities の Norton Disk Doctor (Symantec 社製) ■ディスクの最適化をするアプリケーション。 Norton Utilities の Speed Disk (Symantec 社製) PerfectDisk (NetJapan 社製) ■ディスク、ファイルを暗号化するアプリケーション ■環境を復元するアプリケーション StandbyDisk Solo RB 1.4 (NetJapan 社製) StandbyDisk Solo 2.1 (NetJapan 社製) HP Backup & Recovery Manager (ヒューレット・パッカー社製) HP Recovery Manager (ヒューレット・パッカー社製) Rescue and Recovery、Rapid Restore Ultra (レノボ社製) ● アクティベーションが必要なアプリケーションをインストールしている環境に復元機能をインストールした場合、OS 再起動後のアプリケーション起動時に再度アクティベーションの入力を求められる可能性があります

■64ビットOS対応

Wingnet Ver.11 リリース時は 32 ビット OS のみ対応としておりましたが、2010 年 8 月 31 日に「x64 対応アップデート」モジュールをリリースし、製品に適用いただくことで「Windows 7 の 64 ビット版」を正式に対応としました。

※Windows XP および Vista の 64 ビット版はサポート外です。(未検証)

■USB 操作ユニットの仕様

USB 操作ユニットのコントローラー部は、USB1.1 および USB2.0 に対応しております。
USB3.0 ポートは非対応です。※接続しても正常に動作しません。

また、デバイスドライバーが 32 ビット版のみのリリースとなっており、64 ビット OS ではご利用いただけません。
先生 PC は 32 ビット OS をご使用ください。
※64 ビット OS 用デバイスドライバーの開発予定はございません。

現在、USB 操作ユニットは新モデルに切り替わっており、新モデルは USB3.0 及び 64 ビット OS に対応しております。
ですが、Wingnet Ver.13 以降でしか動作しないため、操作ユニットのみ新モデルに変更、という対応も致しかねます。

■Internet Explorer の対応

Wingnet Ver.11 及び Web オプションでは、Internet Explorer 6.0(SP1)/7/8 までの対応になります。

• Wingnet の「IE ロック」機能の不具合

IE7 から実装された「保護モード」機能と、Wingnet の「IE ロック」機能が干渉し、IE ロック機能を有効にしても動かなくなるという不具合が確認されました。

2011 年 11 月 10 日に「保護モード対応アップデート」をリリースし、製品に適用いただくことで本件は解消します。

• Web オプションの表示崩れ

サポート外ですが、IE9/10/11 では、Web オプションの web ページの体裁が崩れて正しく表示されない事を確認しました。

IE の「互換表示」機能を有効にして、web ページを従来同様の解釈で表示させることで表示については解消しましたが、Web オプションのプログラムが正常に動作するか、についてはサポート致しかねます。

※IE9 には Wingnet Ver.12.5 から、IE10 には Wingnet Ver.14 から対応しております。

また、IE11 は 2014 年 1 月リリース予定の Wingnet Ver.15 で対応いたします。

Wingnet Ver.11 で IE9 以降に対応する予定はございません。

■環境復元機能とウイルス対策ソフトの連携

前述の「環境復元機能対応ウイルス対策ソフト(2013 年 7 月 30 日版インストール時)」の表は、環境復元機能を 2013 年 7 月 30 日版(※2014 年 1 月 16 日現在、最新)をインストールした場合、動作確認済のウイルス対策ソフトです。

Wingnet のインストール CD に収録されている環境復元機能はバージョンが古くなっており、アップデートを行わないと新しいウイルス対策ソフトに対応することができません。※最悪、予期せぬ不具合が発生することが考えられます。

表に記載のないウイルス対策ソフトはサポート致しかねます。